

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

リバース型人工肩関節全置換術後における結帯動作に関連する肩甲骨周囲筋の筋活動因子の検討											
1. 研究の対象および研究対象期間 2021 年 4 月～2025 年 4 月までに昭和医科大学藤が丘病院にてリバース型人工肩関節全置換術を施行し、昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院にて入院および外来リハビリテーションを施行し、術後 1 年以上経過観察可能であった患者さん											
2. 研究目的・方法 リバース型人工肩関節全置換術 (RTSA) は難治性の肩関節疾患に対して適応があり、除痛や挙上動作獲得において良好な術後成績が報告されています。一方で、腕を内側へ捻る動作（結帯動作）は改善が得られにくく、患者さんの手術後満足度が低下する一因と考えられています。本研究では、RTSA 後の結帯動作時の肩甲骨周囲筋の筋活動因子を比較、検討することにより、結帯動作に難渋する患者さんのリハビリテーションの一助とすることを目的としています。											
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 6 月 1 日まで											
4. 研究に用いる試料・情報の種類 - 患者さんの基本的背景（年齢、性別、診断名、現病歴、既往歴、併存症、手術記録） - 患者さんの身体機能評価（関節可動域、結帯動作時の筋電位）											
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません											
6. 研究組織 <table><tr><td>研究責任者</td><td>研究機関名</td></tr><tr><td>井上駿也</td><td>昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院</td></tr><tr><td>研究分担者</td><td>研究機関名</td></tr><tr><td>阿蘇卓也</td><td>昭和医科大学スポーツ運動科学研究所</td></tr><tr><td>田村将希</td><td>昭和医科大学スポーツ運動科学研究所</td></tr></table>		研究責任者	研究機関名	井上駿也	昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院	研究分担者	研究機関名	阿蘇卓也	昭和医科大学スポーツ運動科学研究所	田村将希	昭和医科大学スポーツ運動科学研究所
研究責任者	研究機関名										
井上駿也	昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院										
研究分担者	研究機関名										
阿蘇卓也	昭和医科大学スポーツ運動科学研究所										
田村将希	昭和医科大学スポーツ運動科学研究所										

前田拓哉	昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科
高橋知之	昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科
古山駿平	昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科
古山貫治	昭和医科大学スポーツ運動科学研究所
西中直也	昭和医科大学スポーツ運動科学研究所

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

氏名：井上駿也

住所：227-8518 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1

電話番号：045-978-6121 (総合サポートセンター)